

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	43	—	事業名	古戦場野外活動施設管理運営事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-----------------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	款	9	教育費
		施策の進め方	3	町固有の伝統文化の継承	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	3	野外活動施設費
		政策分類	-		大事業	2	古戦場野外活動施設管理運営事業
	その他(関係法令、要綱等)		博物館法第2条、長久手古戦場野外活動施設条例、長久手古戦場野外活動施設条例施行規則				
事業開始の背景、経緯等		昭和60年～					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・郷土の考古、歴史、民族、産業等に関する資料(以下「郷土資料」という。)の収集、展示及び保管 ・郷土資料に関する調査及び研究 ・和弓場等の貸出し					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 野外活動施設利用者(市外の方も可)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・郷土史の歴史や伝統文化について学び親しむ場、また機会とする。・和弓場をよりよい状態で利用する。					
	事業を構成する事務事業	① 古戦場野外活動施設管理運営事業	改善・見直し	④			
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		9,117	10,615	11,258
決算					8,445	9,268	11,214	
人件費(B)	千円	決算		3,285	3,361	3,141		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		11,730	12,629	14,355		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	A 古戦場野外活動施設年間利用者数	人	目標		37,000	37,000	37,000	37,000	37,000
			実績		34,881	32,858	37,617	35,371	
	B 和弓場の稼働率	%	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		98.4	99.7	99.7	98.4	
	C		目標						
実績									
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 前年度実績を上回るように目標設定する。									
B 前年度実績を上回るように目標設定する。									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町が類似施設を設置。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 特別展を開催したが、開催時期の気象条件が悪かったため、来場者数が減少した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 昭和60年に開館して以来、常設展がマンネリ化している。また、施設も老朽化している。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 古戦場公園再整備事業により、施設の見直しを図る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 古戦場公園再整備事業の推進を図る。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	古戦場野外活動施設管理運営事業								
番号	①	事務事業名	古戦場野外活動施設管理運営事業		款	9	項	4	目	3	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和60年度			終了（予定）年度	—							

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	野外活動施設を訪れる市民に対し、小牧・長久手の戦いをはじめ郷土の歴史や伝統文化について、学習機会や情報提供の充実を図る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	野外活動施設来場者を増加させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		9,117	10,615	11,258	8,912
		決算		8,445	9,268	11,214	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 施設管理委託						2,858	千円
② 修繕料						1,888	千円
③ 光熱水費						1,759	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
開室日数	日	目標	305	308	306	306	306
		実績	305	308	306	306	
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
施設の利用環境の向上のため、和弓場の漏水修繕、資料室の污水管の布設替え工事を行いました。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

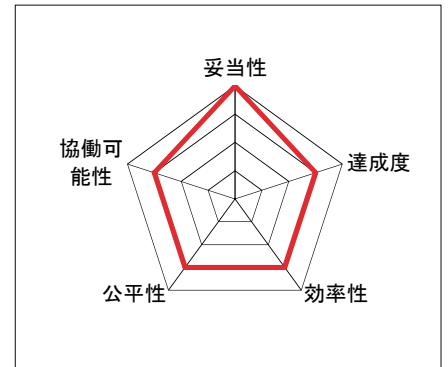
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
昭和60年度の開館以来、常設展がマンネリ化している。また、施設も老朽化している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
古戦場野外活動施設を含む古戦場公園全体の再整備を検討した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
郷土の歴史「小牧・長久手の戦い」について、特別展を開催した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
施設の老朽化

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
古戦場公園再整備事業に取り組む。